

# 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	明日香の歴史発見プロジェクト ～飛鳥の「瓦」の歴史について知ろう～
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	中学部 A 課程「社会」と B 課程「理科社会」における実習授業として実施。学校が位置する地域の地理歴史について学ぶ。
連携・協働相手	奈良文化財研究所 飛鳥資料館
地域と共有している目標・課題等	昭和41年に開校した本校は、近年、新型コロナウイルス感染症対策も重なって、地域との結びつきが希薄になっている。「地域との協働推進事業」を通して、いろいろな団体・ボランティア等と連携・協働を図っていく。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	<p>生徒は説明を聞いたり担当者にインタビューをしたりして、オンラインで学ぶ。</p> <p>研究員の方が主に研究を進めている「飛鳥の瓦」を題材に、飛鳥時代及び学校が位置する明日香村で展開されてきた歴史を、より深く探求する学習を行った。</p> <p>飛鳥寺の発掘調査で出土した本物の瓦をお借りして事前学習を実施し、教科書で学んできた歴史の学習を振り返りながら、現代の瓦と比較して感想や意見を述べ合った。当日のリモート講義に向けては、研究員の方への質問を考えた。</p> <p>本時は新型コロナウイルス感染症による臨時休校のため延期となり、3月に実施予定である。</p>

## 2. 事業の成果と課題

<p>教科書で学んだ知識を思い出しながら取り組むことで、歴史に興味をもつとともに、より明日香村の歴史を身近に感じてもらえることができた。</p> <p>研究員の研究分野である「飛鳥時代の瓦」に着目して、普段、身近にありながら気にすることが少ない瓦を通して、身近なものから歴史に触れるとともに、太古の昔から続く伝統に基づいて現在の生活があることに気づくことができた。</p> <p>事前学習ではお借りした飛鳥寺の発掘調査で出土した本物の瓦を手に取り、直接見て手に持って感じることで、「おもしろい」と興味がわいた発言があった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートでの講義となったこと、研究員の方と実際に実習ができなかったことが残念であった。</p> <p>現状として、臨時休校の関係で、「本時」の取組を3月に実施する予定である。</p>
--

